

和歌山美術館教育研究会 ニュースレター VOL.2

2013 なつやすみ
取り組みまとめ号

発行 平成25年11月29日
和歌山県立近代美術館
〒640-8137
和歌山市吹上1-4-14
www.momaw.jp
教育普及課
T. 073-436-8691
edu_moma@hop.ocn.ne.jp

「5116」—この夏、「なつやすみの美術館3『美術の時間』」展に来館した小中高生の人数です。内訳は、小学生 1069 人、中学生 3644 人、高校生 403 人でした。全てが県内からの宿題による来館であったとは限りませんが、3600 人を超える中学生の来館は、単純に計算して県内の全中学生 12% 以上、市内に限れば 40% 近くにのぼる数字です。

一方、小学生と高校生は、絶対数こそ中学生には及ばないものの、過去3年のうちで最大数となっています。生徒数自体が減少している中、来館生徒数は増加しました。

これらの数字は、先生方が協力して作成して下さった、ワークシートなどの取り組みの結果であるでしょう。なによりも、子どもたちが美術館や作品を体験する機会を作れたことが、大きな成果です。また児童・生徒に限らず、多くの来館者が、先生方作成のワークシートを使って展示を鑑賞している姿が見受けられました。

「5116」



「美術の時間」の教育普及事業

「美術の時間」展では、通例のフロアレクチャーに加え、この3年、試行錯誤してきた「こどもギャラリートーク」も実施しました。これは、時には道具なども使って、作品をさまざまな視点で観察し、説明によってではなく、実体験として作品に近づこうという試みでした。

その他、地域のNPO団体 wacss（ワークス）の協力により、出品作家である佐藤時啓氏のアーティスト・トークと、移動式カメラ・オブスクラ《リヤカメラ》を使ったワークショップなども実施し、両日あわせるとおよそ120人が参加する事業となりました。



こどもギャラリートークの様子



「わくわくシート」を手に、アートツアーに参加する生徒たち

中でも今年、特筆すべきは、和歌山大学教育学部美術専攻の学生4人による「たまごせんせいとわくわくアートツアー」の取り組みです。これは、8月13日から23日までの平日8日間、1日3回、合計24回実施した、学生による鑑賞ガイドです。当日偶然知って参加したという人から、宿題の参考にしようと訪れた小中学生、さらには他府県の教育委員会からの視察者まで、幅広い参加者と一緒に作品鑑賞を行うというのは、学生らにとっては大きな挑戦でしたが、彼女たちは回を追うごとに頼もしくなってゆきました。将来教員として現場に立つ日に、美術館での経験が活かされることを期待します。



子供から大人まで、幅広い世代と一緒に作品鑑賞を楽しみました

またアートツアーに先だって作成した「たまごせんせいのわくわくシート」は、展覧会の中に取り入れた「マンガの時間」の章に関連して、マンガ仕立ての鑑賞ワークシートに仕上げられました。来館者とセリフを読みあってアートツアーの導入にするなど、学生らは自分たちで工夫しながら利用し、アートツアーの参加者以外にも、たくさんの来館者が持ち帰ってゆきました。（ご希望の方には、美術館でお渡しできます。）

2013 前半の活動記録



1



2



3



4



会場入口「みんなの美術の時間」

4月17日 和歌山市中学校教科別研究会

普段は各学校が会場となっている和歌山市の中学校教科別研究会は、市内の全中学校から美術科の先生方がお集まりになる貴重な機会です。今年は近代美術館を会場に設定していただきました。その中で、今年度の「なつやすみの美術館」展において、先生方と取り組みたいと考えているワークシートの計画について提案し、研究会への参加を呼びかけました。

4月20日 第18回研究会

展覧会の概要、主要出品作品を紹介しました。またこの展覧会は、和歌山大学教育学部の授業「美術課題演習Ⅰ」に設定され、受講学生も参加しました。彼女たちは会期中、鑑賞をサポートする「たまごせんせい」として活躍してくれました。

5月11日 第19回研究会

ワークシートのフォーマットについて、具体的な方向性が決定しました。また、今回のテーマとなる「時間」のイメージについて、キーワードを出来るだけ挙げるという方法でふくらませました。その後、展示中の作品から関連するものを題材に、ワークシート上で生徒たちへどのように問いかけるべきかを検討しました。

5月25日 第20回研究会

展示替え中の展示室に、実際の出品作品からいくつかを並べて、検討しました。まずは先生方に作品を知っていただき、それぞれの面白いところを見つけ出すことを目的としました。多くの作品について話し合ったため時間が不足し、実際のワークシート作りには至りませんでした。

6月29日 第21回研究会

会期直前、最後の研究会では、出品作の画像や会場構成をパワーポイントや資料でご紹介しながら、先生方に具体的にワークシートの内容をご検討いただきました。幸い、校種別に分担して3種類が出来上がりました。

なつやすみの美術館3「美術の時間」展 7月6日(土)～8月25日(日)

会場入口には、来場者が好きな作品を絵や言葉で表して投函する「みんなの時間ポスト」を設置。順番に掲示するための「黒板」は、日に日に埋まって何重にも重なり、最終的には300枚を超えるまでになりました。

9月14日 第22回研究会

宿題や自主課題に設定された先生に、生徒たちのワークシートを持参いただき、振り返りの回としました。個々の作品からテーマを読み取る問いに加えて、「時間とは何か?」という問いかけを付け加えたことで、生徒たちの思考の幅が広がったようです。

さあ、来年へ!

・・・とその前に、下半期。

「なつやすみの美術館」展は終了しましたが、年度後半も研究会は開催しています。先日の**11月16日(土)**には、授業の題材研究をテーマに**第23回**を開催しました。次回は**1月後半に第24回**を

行う予定です。当館で常時展示されているコレクションの中から作品を1、2点ずつとりあげて題材化したり、先生方の授業案について検討しあうことを考えています。新たな内容のご提案も大歓迎です。

2014
前半の
計画

4月：展覧会概要の紹介
5月：作品鑑賞会(2回)
6月：ワークシート検討・作成

7月～9月：なつやすみの美術館4
9月：振り返り検討会
(2014年度後半へ続く)

和歌山美術館教育研究会

は、美術館を活用した教育を実践するための集まりです。近代美術館を拠点に、先生方は学校や科目の枠を越えて交流し、教員を目指す学生にとっては先輩の先生方から現場を学べる貴重な場ともなります。美術館で何ができるか、一緒に考えてみませんか。ご参加をお待ちしています。

*ご案内や内容は、主にメールマガジンを通してお伝えします。どうぞご参加ください。(登録には認証が必要ですので、メールか電話で当館教育普及課にご連絡いただくか、以下のページから直接申請ください)

【登録申請ページ <http://goo.gl/U5zEj>】

11	■10月30日(水)～11月10日(日) 第67回県展
	■9月14日(土)～12月1日(日) コレクション展2013秋 特集展示 香山小鳥とその周辺
12	■11月23日(土)～12月8日(日) 和歌山県文化表彰展
1	■12月17日(火)～2月23日(日) コレクション展2013-4冬 特集展示 人間と宇宙のドラマ: 吹田文明・堀井英男・長岡國久
	■12月21日(土)～ 2月11日(火・祝) 物質(モノ)と美術
2	■2月18日(火)～3月30日(日) 版画について考える
3	■3月1日(土)～5月25日(日) コレクション展2014春 特集展示 モノクロームの世界
4	